

製品名: KEPI ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12978

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP1R14C
別名	PPP1R14C; KEPI; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 14C; Kinase-enhanced PP1 inhibitor; PKC-potentiated PP1 inhibitory protein; Serologically defined breast cancer antigen NY-BR-81
遺伝子 ID	81706.0
SwissProt ID	Q8TAE6
免疫原	抗血清はヒト PPP1R14C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

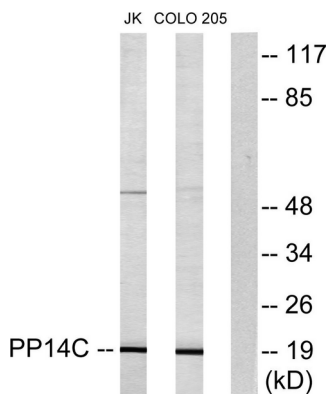
背景

タンパク質リン酸化の程度は、タンパク質キナーゼとホスファターゼの活性のバランスによって制御されます。タンパク質ホスファターゼ 1 (PP1、MIM 176875 参照) は、神経活動、タンパク質合成、代謝、筋収縮、細胞分裂に影響を与えるシグナル伝達ホスファターゼです。PPP1R14C は PP1 の阻害剤です (Liu et al., 2002 [PubMed 11812771])。[OMIM 提供、2010 年 2 月],機能: PPP1CA 阻害剤。リン酸化されると 600 倍以上の阻害活性を示し、PPP1CA 基質のリン酸化状態と平滑筋収縮を制御する分子スイッチを形成します。類似性: PP1 阻害剤ファミリーに属します。組織特異性: 乳がんにおいて検出されます。、

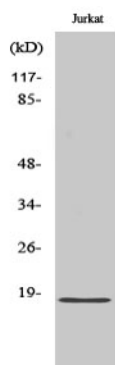
研究分野

-

画像データ



PPP1R14C 抗体を用いた Jurkat 細胞および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した KEPI ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析